

戦没者を悼み平和を誓う

戦没者追悼式

平成27年度松浦市戦没者追悼式が11月13日、文化会館で行われました。

式では、松浦市連合遺族会の八谷健司はちや たけし会長が、「今年は大戦から70年。悲惨な戦争を繰り返してはいけない。平和の大切さ、戦争の悲惨さを語り継ぎ、世界平和の実現に尽力していかなければならない」と追悼の言葉を述べました。

会場には、遺族や関係者約300人が参列し、遺族代表などが祭壇に献花や献吟を捧げ、1,176柱の冥福を祈りました。



まちの話題

Matsuura City Topics

音楽を楽しんで！

松浦市小・中学校音楽会

平成27年度松浦市小・中学校音楽会が11月11日、文化会館で開催されました。

同音楽会は、音楽に対する関心・意欲と音楽を愛好する心情を高め、心豊かな人間を育成することを目的に毎年開催されています。

この日は、市内の小・中学校17校から約570人が参加。合唱や合奏、吹奏楽の演奏などを披露しました。

子どもたちは、会場を訪れた観客と一緒に音楽を通して楽しい時間を過ごしました。



いつまでもお元気で！

市内では、新たに2人が100歳の誕生日を迎えました。中尾末子なかお すえこさん（志佐・丹花）が11月12日、自宅で100歳の誕生日を迎えました。

中尾さんは大正4年に現在の韓国で生まれ、3歳のころ江迎町に移り住まれました。結婚後はご主人の転勤で各地を回った後、志佐町に移り住み、4人の子どもと8人の孫、10人のひ孫に恵まれました。現在は、自宅で押し車を使って歩行運動をするなど、元気に過ごされています。



▲ 中尾末子さん

100歳のお祝い

白石マサしらしさん（鷹島・阿翁浦）が11月27日、入所中の鷹島診療所で100歳の誕生日を迎えました。

白石さんは、大正4年に鷹島町で4人姉妹の末っ子として生まれました。鷹島町で大工をしていたご主人のもとへ嫁ぎ、子ども6人と9人の孫に恵まれました。

この日、白石さんは家族に囲まれ、100歳の誕生日を祝いました。



▲ 白石マサさん

地域を見守ります

地域見守りネットワーク協定調印式

松浦市と生活協同組合ララコープ（石原茂常任理事理事長）が11月17日、松浦市地域見守りネットワーク協定を締結しました。

昨年7月に協定を結んだ市内12事業者に加えて、今回の同社との協定締結により、高齢者や子どもなど、見守りが必要とする人の安否確認および異変の早期発見、早期対応による住民福祉がさらに向上することが期待されます。

同社の山城伸一常勤理事は、「毎週、食を届けることと同時に人と人とのふれあいを大切にしている。安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう頑張りたい」と話しました。



松浦育ちのトラフグおいしいよ！

学校給食「養殖トラフグ」提供

松浦の将来を担う子どもたちに松浦の養殖トラフグを身近に感じてもらいたいと、新松浦漁業協同組合主催で市内の全小中学生の学校給食に養殖トラフグのから揚げ約2,300食が提供されました。

星鹿小学校では11月19日に給食に提供されました。児童からは「初めて食べたけど、歯ごたえがあっておいしい。プルプルしている」と感想が聞かれ、生産者の養殖トラフグの説明に子供たちは熱心に聞き入っていました。



凜として咲く美しい寒蘭

寒蘭展示会

松浦蘭友会（村田嘉久会長）が主催する寒蘭展示会が11月14日・15日の両日、道の駅海のふるさと館漁村体験学習施設で開催されました。

この展示会は、同会会員の親睦と栽培技術の向上を目的に毎年開催され、今年で54回目を迎えました。

会員が育てた寒蘭約100点が美しさを審査され、金、銀、銅の各賞が決まりました。結果は次の通りです。

【総合優勝】新見 重さん（志佐・里1）

【準優勝】吉永 勳さん（調川・下免）



秋の風景を満喫！

福島一周わいわいフェスタ

秋の福島路を楽しむ福島一周わいわいフェスタ2015ウォーク&ジョギング（福島陸上協友会主催）が11月15日、福島港ふれあい広場前をスタート・ゴールとして福島を一周する13.15kmのコースで行われました。

大会には市内外から182人が参加。参加者たちはコースの途中から見える「イロハ島」や「土谷棚田」などの福島町の美しい景観を眺めたり、コスモス畑で記念撮影をして楽しみながら、走ったり歩いたり自分に合ったペースでさわやかな汗を流しました。

